



(公社)神奈川労務安全衛生協会

小田原支部

小田原市本町2-3-24

TEL 0465-24-1753

発行責任者 支部長 寒竹重史

編集 広報部会



小田原城 学橋

(株)東海ビルメンテナンス 後藤 正臣氏 撮影

第77回 全国労働衛生週間スローガン

『ひとりひとりが貴重な人材 心も体も健やかに
みんな生き生き健康職場』

令和 8 年度

全国労働衛生週間によせて

小田原労働基準監督署 署 長 田 代 克 也



日頃から、会員事業場の皆様方におかれましては、当署の行政運営に御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全国労働衛生週間は、今年で77回目を迎えることになりました。

神奈川県内の職業性疾病の発生状況は、令和7年は新型コロナウイルス感染症によるものを除くと1,070人であり、うち死亡が6人発生しております。

また、令和7年度の脳・心臓疾患の労災支給決定件数は16人、精神障害の労災決定支給件数は50人と、ここ数年横ばいの状況です。過重労働による健康障害の防止やメンタルヘルス対策

の推進が重要です。

さらに、職場における熱中症による休業4日以上の死傷者は、令和7年には102人と、初めて100人を超えました。また死亡も1人発生しています。

このような背景を踏まえ、今年度は、

**「ひとりひとりが貴重な人材 心も体も健やかに
みんな生き生き健康職場」**

をスローガンに全国労働衛生週間が展開されます。これを契機に、労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層の促進をお願いいたします。

全国労働衛生週間

講演を聞いて

今回の講演を聞いて、労働災害を防ぐためには、事故が起きた後に原因を考えるのではなく、日頃からデータを集め、職場に潜む危険を具体的に把握することが重要だと感じた。実際の災害事例や年齢別の傾向を分析することで、転倒や腰痛など、どのような事故が起こりやすいのかを知ることができ、それに応じた対策を立てられる。安全対策は、単に注意を呼びかけるだけでは不十分であり、作業方法や設備、照明、服装、靴など、職場環境そのものを改善する必要があると学んだ。



特に印象に残ったのは、高齢労働者への対応についてである。高齢者は一律に「できない」と考えるのではなく、一人ひとりの体力や視力、経験、健康状態を把握し、その人が能力を発揮できるように環境を整えることが大切だと思った。年齢を重ねると、視力やバランス感覚、筋力などが低下し、若い頃には問題のなかった段差や暗い場所、重い物の持ち運びが危険に

なる場合がある。そのため、照明を明るくする、無理な作業を避ける、作業手順を見直すなどの配慮が必要である。



また、長時間座り続けることを避け、短時間でも立ち上がったたり体を動かしたりすることが健康維持につながるという話も参考になった。特別な運動を長時間行うのではなく、仕事の合間に簡単な体操やスクワットを取り入れるなど、無理なく継続できる方法が大切だと思う。熱中症対策についても、水分補給や休憩だけでなく、睡眠不足や体調の変化に注意し、症状が見られた場合は早めに対応する必要があると学んだ。

今回の講演を通して、安全と健康は個人の努力だけで守るものではなく、会社と従業員が協力してつくるものだ実感した。今後は自分自身の体調管理を心がけるとともに、周囲の変化にも気を配り、誰もが安心して長く働ける職場づくりに貢献したい。(株)鈴廣蒲鉾 志村 明規)

小田原労働基準監督署からのお知らせ

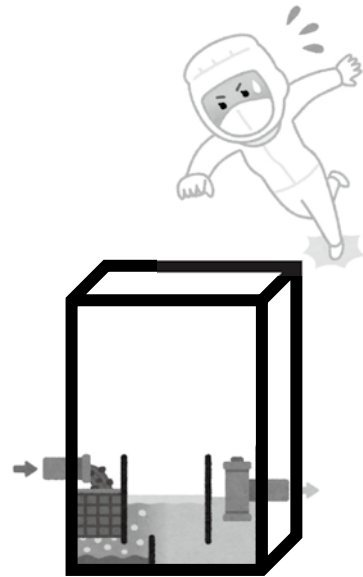
～ グリストラップへの転落災害にご注意ください ～

今夏、小田原労働基準監督署管内において、グリストラップ※の清掃作業中に、グリストラップ内に転落したことによる死亡災害が発生しました。

全国でも本災害と同様に、槽内に転落したことで亡くなる事例が複数発生しています。槽内には有毒ガスが発生している場合もあるため、救助者の二次災害が起きた事例もあります。

また、災害発生後、時間が経ってから発見される事案も多く見られ、初期対応の遅れも重大災害となる一因であると考えられます。

皆様の事業場につきましても同様の作業が行われる場合には、リスクアセスメントの実施、それに基づいた安全な作業手順の作成や安全教育、複数人で作業を実施すること等の対策を行い、同種災害の防止に努めてください。



※グリストラップ(グリスト)とは、飲食店や宿泊施設、社会福祉施設など、業務用厨房施設で出る排水から油脂分を分離・貯留させるための設備を言います。

～ 神奈川県最低賃金が 1,279 円に ～

神奈川県最低賃金は、令和 8 年 10 月 1 日から時間額 1,279 円に改定されます(現行 1,225 円から 54 円引上げ)。県内で働く全ての労働者(パート・アルバイトを含む)に適用されます。

～ 36 協定は「締結後の運用」が重要です ～

36 協定は締結・届出をして終わりではありません。特別条項付き 36 協定を締結している事業場では、協定で定めた健康確保措置が実際に実施されているか、改めて確認しましょう。また、36 協定や変形労働時間制などの労務管理については監督署のほか、働き方改革推進支援センター、経営課題や生産性向上についてはよろず支援拠点の無料の訪問支援を活用できます。

働き方改革推進支援センター

各都道府県に設置されているセンターで労務管理に関する専門家がお受けします



よろず支援拠点

各都道府県に相談窓口を設置し、生産性の向上や人手不足への対応などの経営課題について、様々な分野の専門家が相談をお受けします



全国産業安全衛生大会 札幌に参加して

全国産業安全衛生大会に参加し、さまざまな業種の研究発表から、災害事例の分析手法や現場の工夫、継続的な安全活動の重要性など多くの気づきを得ました。当協会からは、従来の「危険体感研修」に、ロコモ度チェックと機能維持運動による転倒災害防止講習を加えた取り組みを発表しました。会員企業のアンケートから転倒が共通の課題と判明したためです。講習では立ち上がりテストや手軽な運動を実演し、危



登壇する鎌田事務局長

険への気づきだけでなく、自身の身体機能を把握して早期の予防行動につなげる大切さを再確認しました。資料作成や当日の発表に尽力された皆様に心より感謝申し上げます。今大会を通じ、各社が職場の実態に即して課題と向き合い、工夫を重ねていることを学びました。得られた知見を生かし、危険に「気づく力」と「転倒しにくい身体づくり」を両輪に、今後も継続的な災害防止に取り組んでいきます。

(安全部会長 富士フイルム(株)神奈川事業場 三廻部 弘一)

令和8年度 労務安全衛生管理夏季講座に参加して

恒例の「労務安全衛生管理夏季講座」が7月3日、かながわ県民センターで開催されました。本講座はその時々タイムリーなテーマを取り上げ、参加者同士の意見交換を通じて理解を深める場となっています。

【第1分科会】テーマ：安全衛生担当者の職務 ～どのように進めたらよいのか～に参加して

まずパネリスト3名から、着任初期の心構えや具体的な職務の進め方、他社からの情報収集法などが紹介され、質疑応答が行われました。その後8グループに分かれて討議を実施。私のグループは全員が化学品製造会社だったため、実務に即した情報交換ができ大変有意義でした。各グループとも時間が足りないほど活発に議論が交わされ、最後に代表者による発表と質疑応答を経て終了しました。安全衛生活動を進めるうえで非常に参考になる、実りの多い講座でした。(豊玉香料(株) 渡辺 均)



グループ発表する渡辺さん

「安全衛生担当者の職務」をテーマに、各企業の担当者が集まり約1時間のグループ討議を行いました。自社の困りごとや不安を共有し、良好事例や経験を語り合う活発な時間となりました。リアルな意見交換により他社の取り組みを知ることが、視点を変え、新たな行動を起こす大きな原動力になると感じます。私たち担当者は「従業員の安全・安心」を強く意識し、周囲を巻き込みながら課題解決を図ることが大切です。今回の対話で得た熱量を忘れず、スピード感をもって今後の活動に取り組んでいきます。(ライオン(株)小田原工場 石川 和広)

【第2分科会】テーマ：メンタルヘルスや健康管理でおさえおきたい法律の知識に参加して

「法律」と聞くと難しそうですが、個人情報保護と情報共有の問題や復職判断の難しさなど、「あるある！」と共感しながら興味深く受講できました。現場の具体的な事例を交えたお話は大変理解が深まりました。法律の知識は労働者だけでなく、私たち産業保健スタッフ自身を守るためにも不可欠です。対応に悩む場面も多いため、法を念頭に置き、主治医や会社と連携して慎重に対応する必要がありますと実感しました。今回の学びを活かし、今後もより適切な支援ができるよう努めてまいります。(産業保健研究会 富士フイルム健康管理センター 武松 晃子)



第2分科会 グループ討議風景

令和8年度 神奈川労働局長表彰 奨励賞

(株)ディスペンパックジャパン南足柄工場



神奈川労働局長安全衛生表彰式にて賞状を手にする安全衛生担当 實方さん(左)と南足柄工場長 平崎さん(右)

この度の神奈川労働局長 奨励賞の受賞に際し、弊社の取り組みをご評価いただき誠に光栄に存じます。ご推薦いただきました小田原労働基準監督署の皆様には心より感謝申し上げます。

弊社では、従業員の主体的な『体操強化月間』の設定や『体力年齢測定プログラム』に基づいた身体づくり、ウォーキングイベントの実施など、心身の健康を守る職場環境づくりに努めてまいりました。今回の受賞を励みに、従業員一丸となってさらに安全で健康的な職場を築いていきたいと思ひます。

(株)ディスペンパックジャパン南足柄工場 平崎 直人)

New 危険体感講習会紹介

現在、全国的に労働災害が増加しておりその代表的災害が転倒災害となっています。小田原支部安全部会では、この4年間の支部内で発生した転倒災害の実態調査を行い、その原因分析を行ってきました。その結果、「年齢と共に低下する身体機能」に起因する事が分かってきました。そこで従来の危険体感講習会にロコモ(ロコモティブシンドローム)コンテンツを加えた対策講習会を企画しました。

その内容は、身体機能チェックで今の状態を自覚した後に、シンプルな改善運動を実習し生活習慣につなげていく体感教育となっています。是非受講して「自身の運動機能」を点検してみませんか。(安全部会)

危険体感研修 Part I (これまでの災害事例に基づく体感)



危険体感研修 Part II (増加する行動災害に向けた改善体験)





事務局だより

事務局長 鎌田 光郎

令和 8 年度も下期に入り「学びの秋」を迎えました。法令講習とともに「転倒災害防止コンテナツを加えた New 危険体感講習」や「ストレス対処をテーマとした健康保持増進講習」などを企画しました。個人の安全力アップに向け、是非ご活用ください。

〈10月～12月開催講習会〉

- | | |
|--|-------------------------------|
| * フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 | * リスクアセスメント研修会 |
| ・10月22日(木) 青色会館 | ～自律的な化学物質管理導入に向け～ |
| * 健康保持増進講習会(テーマ: ストレス
対処に役立つリラクゼーション) | ・11月25日(水) 青色会館 |
| ・10月27日(火) 青色会館 | * 安全衛生推進者養成講習会 |
| * フォークリフト特別教育 | ・12月1日(火)、2日(水) 青色会館 |
| ・10月29日(木) 青色会館 | * 保護具着用管理責任者選任時研修 |
| * 化学物質管理者選任のための研修 | ・12月8日(火) 青色会館 |
| ・11月4日(水) 青色会館 | * テールゲートリフターの操作の業務に係
る特別教育 |
| * 新KYT 基礎実践研修会 | ・12月17日(木) 小田原ガス |
| ・11月6日(金) 青色会館 | * クレーン特別教育 |
| * New 危険体感講習会 | ・12月22日(火) 青色会館 |
| ・11月10日(火) 富士フィルム研修センター | * フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 |
| * 職長教育 | ・12月24日(木) 青色会館 |
| ・11月12日(木)、13日(金) 青色会館 | |



散 歩 道

娘と一緒に「あつまれどうぶつの森」を遊ぶのが、最近の楽しみの一つです。

このゲームは、無人島を自分の好きなように整えながら、どうぶつたちと暮らしていくゲームです。何かを競うわけではなく、家を飾ったり、木や花を植えたりしながら、のんびりと過ごせるのが特徴です。

ゲームをする娘は、「ここにトマト畑を作りたい」「この家具がかわいいからたくさん並べたい」と、自分の気に入ったものを自由に並べていきます。

先日も「見て見て」と言われて見ると、花に囲まれた小さな広場ができていました。娘

は満足そうに「ここでどうぶつたちがお話するんだよ」と説明してくれました。

娘が次は何を作るのか、どんなどうぶつと仲良くなるのか、そんな話をしながら一緒に遊ぶ時間を、いつも楽しく過ごしています。

(広報部会 尾藤 栄治)

